令和８年産「ゆめかおり」栽培講習会を開催

県西地域を中心にパン用小麦「ゆめかおり」を栽培する「茨城パン小麦栽培研究会」は、きめ細かな肥培管理により、実需者ニーズに合った高品質な小麦づくりを実践しています。

「ゆめかおり」の生産規模の拡大と品質維持に向け、10 月 22 日に「茨城パン小麦栽培研究会」と共催で令和８年産に向けた栽培講習会を開催し、生産者 22 名および関係機関等 18 名の合計 40 名が参加しました。

始めに、当普及センターから令和７年産の収量及び品質について説明しました。初期生育は低温乾燥により控えめでしたが、生育後半は高温で推移したことで例年並みの生育となり、契約数量及びタンパク基準値を今年も達成することが出来ました。

次に、静岡県農林技術研究所からオンラインにてネズミムギの生態及び防除対策について、結城普及センターからザルビオフィールドマネージャーの活用方法について情報提供がありました。管内でもネズミムギの発生が増加傾向にあり、生産者の反応や質疑応答の様子から関心の高さがうかがえました。

最後に、優良生産者の栽培事例を参加者に共有し、栽培技術の向上に加え、高品質生産に対する意識向上につなげることが出来ました。

普及センターでは、「ゆめかおり」の高品質安定生産を目指して、関係機関と連携し、引き続き支援に取り組んでいきます。

令和７年 11 月日　坂東地域農業改良普及センター　松井匠（成長産業）